

学位論文の要旨

論文題目 (和文) ライトノベルにおける「戦闘美少女」像の変容
(英文) The Transformation of the Image of "Beautiful Fighting Girl" in Light novels

広島大学大学院総合科学研究科
総合科学専攻
学生番号 D174000
氏名 和 暁禎

論文の要旨

ライトノベルは日本特有のサブカルチャーで生まれた小説の類型である。それが含まれている要素は非常に広いため、まだ十分に明確に定義されていない。しかし、80年代末にはライトノベルが冒頭し、90年代にはサブカルチャー産業が盛んになり、ライトノベルも紛れもなく急速に発展してきた。ライトノベルの創作、さらにはサブカルチャー（特にオタク文化）産業全体における創作では、決して無視されないキャラクターが一つある。それが「戦闘美少女」である。簡単に言えば、戦闘美少女とは、戦闘能力を持ち、戦闘の任務を遂行する必要がある女の子のキャラクターである。一方、ライトノベルの元祖と呼ばれる『スレイヤーズ』（著者:神坂一、イラスト:あらいずみるい、富士見書房、1989～）の設定により、その主人公はまさしく戦闘少女である。だとすれば、「戦闘美少女」は最初からライトノベルの発展の歴史を貫いたことともいえるだろう。

本論文は、近年のライトノベルについて研究文献に基づき、主に日本のライトノベルを対象とし、その中に存在する美少女特に「戦闘美少女」像をめぐって研究する。ライトノベルが台頭した1980年代末から、発展した90年代およびゼロ年代に至るまで代表的な戦闘美少女のキャラクターを整理し、その発展の流れを示してみる。とりわけジェンダーの視角から、『イリヤの空、UFOの夏』、『キノの旅』等何部の作品にある戦闘美少女像を取り上げ、戦闘美少女の人物像や物語との関連性などを究明し、また、戦闘美少女の「内包」を解明し、局限性や発展の可能性も検討してみる。